

(鯖街道熊川宿 説明看板：菱屋)

菱屋の建物

この建物は、熊川宿という宿場町の貿易経済において何世代にもわたって重要な役割を果たしてきた、菱屋と呼ばれる大きな運送・卸売業者の建物として 1868 年に建設されました。菱屋は熊川宿から次の目的地への輸送のために貨物を降ろして集荷する場所の 1 つでした。運搬人や馬もそこで借りることができました。その成功の絶頂期には、年間約 27,000 t の貨物が菱屋を通過しました。その繁盛した商いは、若狭地方と京都の首都を結ぶ重要な交易路である若狭街道沿いにある主要な輸送の中心地としての町の役割を代表するものでした。

菱屋の 19 世紀後半の建築は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された熊川宿の町並みの、注目すべき要素です。2 階建ての建物はこの地域で最大級の建物の一つで、その広い正面は主要な道と前川の流れを見渡しています。建物の外観の特徴は、深い赤と白の壁、格子窓、瓦屋根です。現在、この建物はシェアオフィススペースとして、また会議や講演会、ポップアップショップ、地域イベントの場として利用されており、新しい現代的な方法で熊川宿の住民の生活を支えています。